

10. 小腸がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			開腹手術	腹腔鏡下手術			治療内容		治療実績	医師の専門分野	
1 外科	5	5	状況	○	○	○	手術中に迅速病理組織診断を行うことができます。より侵襲製の少ない手術を心がけております。	ア http://www.wakakoukai.or.jp/daiichi/?page_id=18	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	あり	なし					
2 消化器内科	7	7	状況	×	×	○	内視鏡治療など、がんに対して積極的かつ迅速な対応を行っております。	ア http://www.wakakoukai.or.jp/daiichi/?page_id=18	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし					
3 放射線科	3	3	状況	×	×	×	各診療科と連携し治療を行います。	ア http://www.wakakoukai.or.jp/daiichi/?page_id=18	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし					
4			状況					ア http://			
			実績								
5			状況					ア http://			
			実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:乳頭部がん、十二指腸がん 小腸がん
------------------------------------	------------------------